

ブラックロック 世界株式絶対収益追求ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

ブラックロック 世界株式絶対収益追求ファンド (為替ヘッジあり)

第19期末(2024年1月15日)	
基準価額	8,769円
純資産総額	17百万円
騰落率	0.6%
分配金	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

ブラックロック 世界株式絶対収益追求ファンド (為替ヘッジなし)

第19期末(2024年1月15日)	
基準価額	13,228円
純資産総額	784百万円
騰落率	8.3%
分配金	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記弊社ホームページの「ファンド・ETF情報」、「投資信託」から当ファンドのファンド名を選択することにより、当ファンドの「運用報告書(全体版)」を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 「運用報告書(全体版)」は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

追加型投信／海外／株式／特殊型(絶対収益追求型)

交付運用報告書

第19期(2024年1月15日決算)

作成対象期間(2023年7月19日～2024年1月15日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)」は、このたび、第19期の決算を行いました。当ファンドは、世界株式絶対収益追求マザーファンドへの投資を通じて、主として世界の株式および株式関連の派生商品等に投資し、買い建て・売り建てポジションを構築することにより、世界の株式市場の動向に左右されにくい安定的な収益を追求し、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過についてご報告いたします。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ブラックロック・ジャパン株式会社

〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号
丸の内トラストタワー本館

運用報告書に関するお問い合わせ先

電話番号: 03-6703-4300

(受付時間 営業日の9:00～17:00)

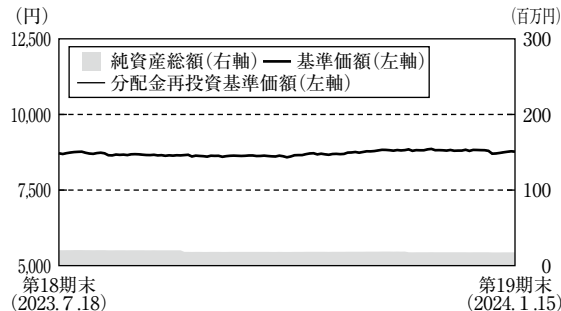
ホームページアドレス

www.blackrock.com/jp/

<ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり)>

◇運用経過

■当期中の基準価額等の推移について(第19期:2023年7月19日～2024年1月15日)



第19期首：8,713円
 第19期末：8,769円(既払分配金0円)
 騰落率：0.6%(分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の期中騰落率は+0.6%となりました。当期、為替市場において円安が進行したことで「世界株式絶対収益追求マザーファンド」は上昇しましたが、当ファンドにおいては、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図っていることが基準価額の上昇を抑える要因となりました。

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
世界株式絶対収益追求マザーファンド	8.8%

- *分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- *分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- *分配金再投資基準価額は、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

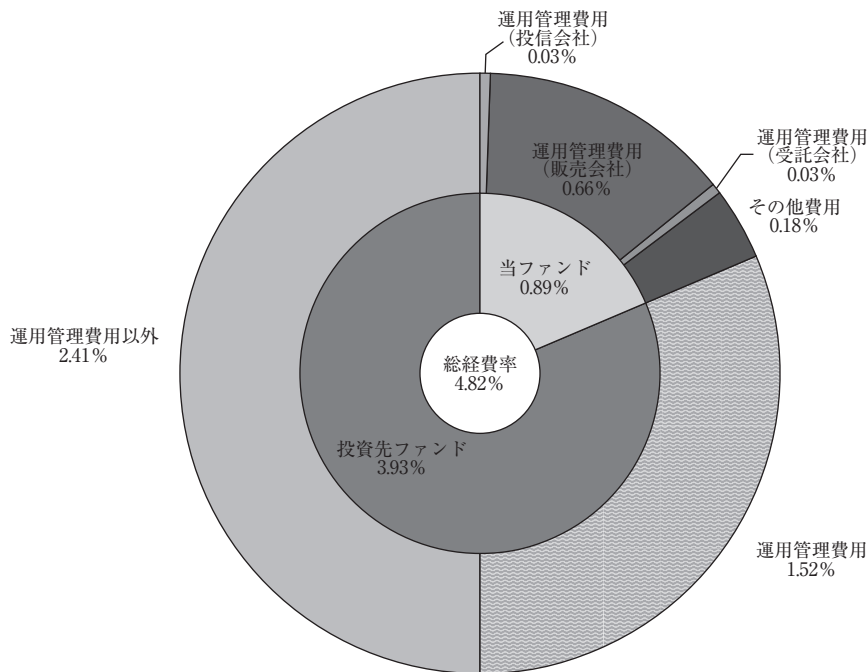
■1万口当りの費用明細

項目	第19期 (2023.7.19～2024.1.15)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	31 円	0.355 %	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,712円です。
(投信会社)	(1)	(0.014)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(28)	(0.326)	販売会社分は、交付運用報告書各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	8	0.088	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(印刷費用・監査費用等)	(5)	(0.054)	目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
(その他)	(3)	(0.033)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	39	0.443	

- (注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は4.82%です。

総経費率(①+②+③)	4.82%
①当ファンドの費用の比率	0.89%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.52%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	2.41%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

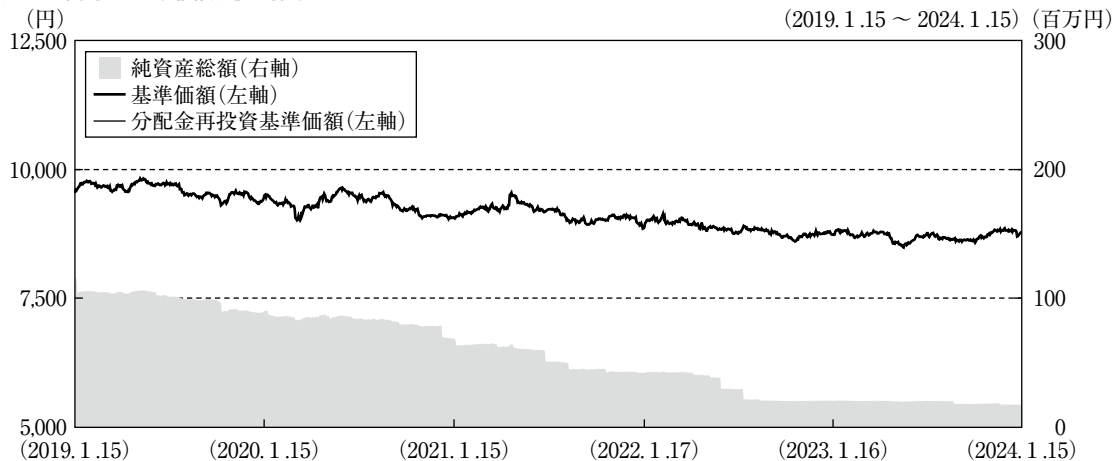
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2019年1月15日の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

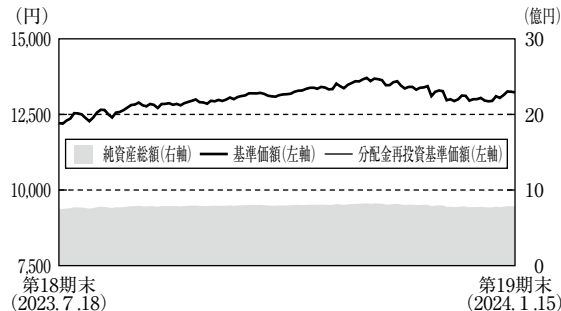
	2019年1月15日 期初	2020年1月15日 決算日	2021年1月15日 決算日	2022年1月17日 決算日	2023年1月16日 決算日	2024年1月15日 決算日
基準価額(分配落) (円)	9,544	9,387	9,060	8,852	8,738	8,769
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	-	△ 1.6	△ 3.5	△ 2.3	△ 1.3	0.4
純資産総額 (百万円)	115	89	68	42	20	17

* 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していません。

<ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジなし)>

◇運用経過

■当期中の基準価額等の推移について(第19期:2023年7月19日～2024年1月15日)



第19期首：12,211円
 第19期末：13,228円(既払分配金0円)
 騰落率：8.3%(分配金再投資ベース)

■基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の期中騰落率は+8.3%となりました。当期、為替市場において円安が進行したことで「世界株式絶対収益追求マザーファンド」が上昇したことにより、基準価額は前期末比で上昇しました。

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
世界株式絶対収益追求マザーファンド	8.8%

- *分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- *分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- *分配金再投資基準価額は、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

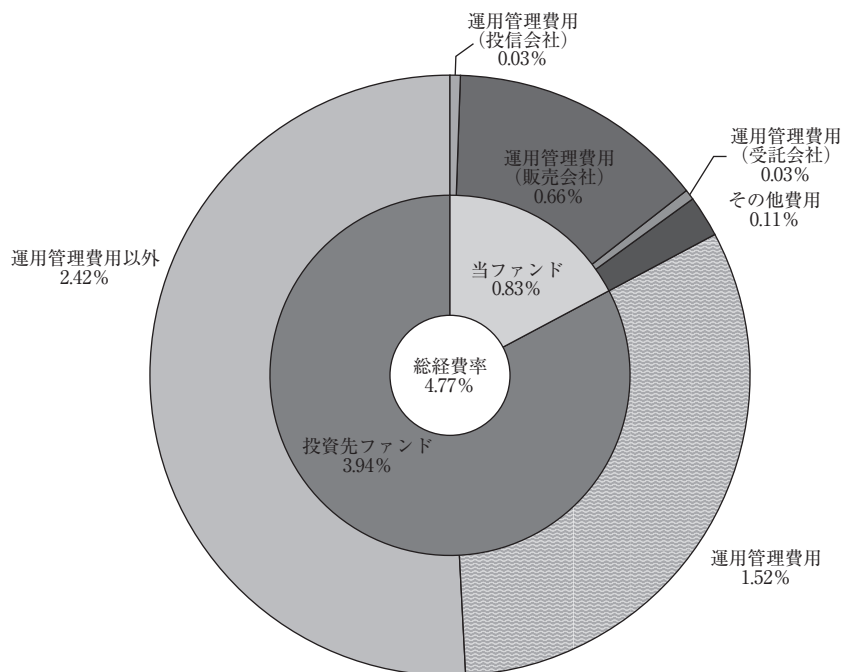
■1万口当りの費用明細

項目	第19期 (2023.7.19～2024.1.15)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円	%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,068円です。 投信会社分は、委託した資金の運用の対価 販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(2)	(0.014)	
(販売会社)	(43)	(0.326)	
(受託銀行)	(2)	(0.015)	
(b) 売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	7	0.056	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(0)	(0.001)	
(印刷費用・監査費用等)	(7)	(0.054)	
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	54	0.412	

- (注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率



※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は4.77%です。

総経費率(①+②+③)	4.77%
①当ファンドの費用の比率	0.83%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.52%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	2.42%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

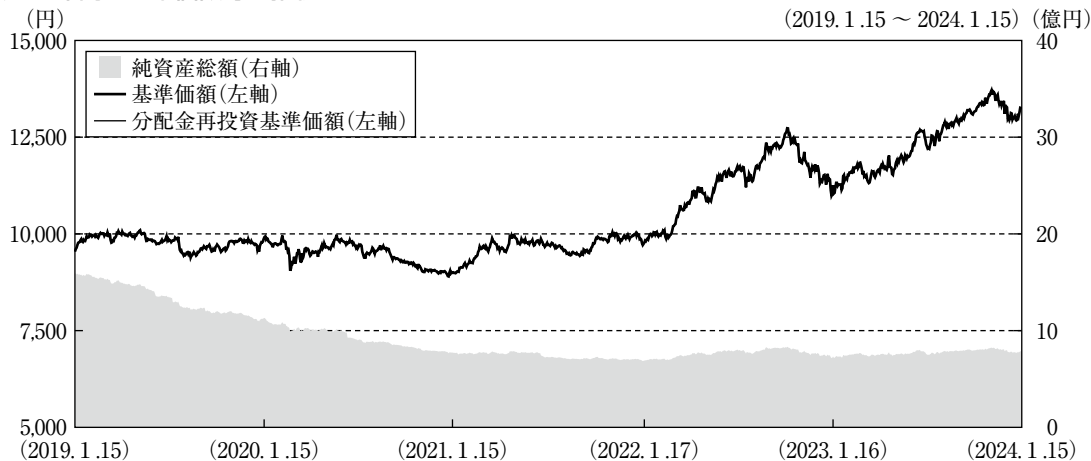
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2019年1月15日の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2019年1月15日 期初	2020年1月15日 決算日	2021年1月15日 決算日	2022年1月17日 決算日	2023年1月16日 決算日	2024年1月15日 決算日
基準価額(分配落) (円)	9,544	9,781	8,996	9,712	10,990	13,228
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	-	2.5	△ 8.0	8.0	13.2	20.4
純資産総額 (百万円)	1,584	1,120	772	685	716	784

* 当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定していません。

投資環境について

当期(2023年7月19日-2024年1月15日)の世界の株式市場は、引き続き米国などの主要中央銀行の金融政策などのマクロ動向の影響や生成AIへの期待等の影響を受けました。金融政策面では、従来はインフレ継続に伴う利上げ動向が注目点でしたが、当期においては利下げへの期待が市場の注目点となりました。特に米連邦準備制度理事会のパウエル議長が利下げに前向きな姿勢を示すと、市場参加者は急速にリスクテイク姿勢を強めるなどしました。個別銘柄レベルでは決算内容に基づく個別銘柄精査の動きに加え、AIへの期待から半導体関連銘柄中心に買われる環境となりました。

ポートフォリオについて

<ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり)>

当期、「世界株式絶対収益追求マザーファンド」を高位に組み入れた運用を行いました。また、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りました。

<ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジなし)>

当期、「世界株式絶対収益追求マザーファンド」を高位に組み入れた運用を行いました。

<世界株式絶対収益追求マザーファンド>

当ファンドは2つの投資対象ファンドを通じて、世界の株式に実質的に投資し、買い建て・売り建てポジションを構築することにより、世界の株式市場の動向に左右されにくい安定的な収益の獲得を目指しました。

なお、ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)の2024年7月8日の信託期間の終了(満期償還)にあたり、償還に備えるために、世界株式絶対収益追求マザーファンドが投資していた2つの投資対象ファンドのうちの1つである「グローバル・アルファ・オポチュニ

ティーズ・エクイティ・ファンド」については、当該ファンドの取締役会の決議によって2023年12月29日に償還されました。当該ファンドに投資していた50%程度のポジションは、償還後は米ドルキャッシュへ移行しました。

各投資対象ファンドの運用状況は以下のとおりです。

グローバル・アルファ・オポチュニティーズ・エクイティ・ファンド(GAO)は、短期の評価基準である「市場心理」に着眼し、短期的な収益機会を捉える運用戦略(GAO戦略)で投資収益を追求しました。

当期、GAOのパフォーマンスは+1.0%(米ドルベース、2023年12月29日(償還日)までの騰落率)となりました。

当期は、米経済の動向や米国金利見通しなどのマクロ環境の見通しの変化に応じて個別銘柄選択トレンドが変化する場面がありました。また、生成AIへの期待のように今後の業績期待の結果、銘柄物色が集中する場面もありました。このような環境において、順張り色のある投資アイデア中心に有効性を発揮しました。具体的には、ニュースのセンチメントや、サプライチェーンに基づく業績の波及効果に着目した投資アイデアなどが有効性を発揮しました。

2023年12月には、12月末の償還に向けて、保有するポジションの解消を進め、資金化を行いました。

BSFブラックロック・システムティック・グローバル・エクイティ・アブソルート・リターン・ファンド(GLSE、2023年8月1日に「BSF ブラックロック・システムティック・グローバル・ロング/ショート・エクイティ・ファンド」よりファンド名称を変更しました。)は、主に中長期の評価基準である「利益の質」および「相対価値」に着眼し、短期の評価基準である「市場心理」も活用し、中長期的な収益機会を捉える運用戦略(GLSE戦略)で投資収益を追求しました。

当期、GLSEのパフォーマンスは+9.2%(米ドルベース)となりました。

当期、米金利見通しの変化、米国経済先行き不透明感など、マクロ面の動向の影響を受けました。概ね利下げ期待が強まった市場環境でしたが、同時に経済減速への懸念が市場参加者のリスクテイク姿勢の重石となりました。

このような環境において、ファンダメンタルズ要素の中でも財務体質に着目した投資アイデアがプラス寄与しました。また、センチメント要素では今後の業績期待に着目する投資アイデアなどが有効性を発揮しました。

ファンダメンタルズ要素のうち、財務関連では株式希薄化(増資の有無)や外部借入比率に着目した投資アイデアなどが有効性を発揮しました。センチメント要素では、決算サプライズや、一般的なファクター動向に着目した投資アイデアなどが有効性を発揮しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。したがって当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金について

<ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり)>

今期の収益分配につきましては、基準価額水準、市場動向等を勘案して見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期 2023年7月19日 ~2024年1月15日
当期分配金(税込み)	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	156

(注1)「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2)円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

<ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジなし)>

今期の収益分配につきましては、基準価額水準、市場動向等を勘案して見送りとさせていただきます。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項目	当期 2023年7月19日 ~2024年1月15日
当期分配金(税込み)	-円
対基準価額比率	-%
当期の収益	-円
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	3,228

(注1)「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2)円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり)>

引き続き、「世界株式絶対収益追求マザーファンド」を高位に組入れる運用を行う方針です。また、2023年末に償還された「グローバル・アルファ・オポチュニティーズ・エクイティ・ファンド」の償還金として受領した米ドルキャッシュを含め、当ファンドが実質的に保有している、マザーファンドにおける外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図る方針です。

<ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジなし)>

引き続き、「世界株式絶対収益追求マザーファンド」を高位に組入れる運用を行う方針です。

<世界株式絶対収益追求マザーファンド>

直近の2023年10-12月期の株式市場は、前四半期から大きくトレンド転換を果たし、上昇しました。10-12月期に2回開催された米連邦公開市場委員会(FOMC)では、ともに予想以上のハト派姿勢が示され、株式市場の支援材料となりました。前四半期同様、金利動向との連動性の高さが強く残る株式市場であったとも言えます。他方、業績動向は、企業の事前想定及び市場予想を上回るなど堅調であったものの、改善動向は四半期末に鈍化する面もありました。もっとも、業績トレンドは依然として良好であることから、2024年は売上成長を伴う業績拡大の可能性もあります。

こうした中、当マザーファンドでは、投資対象ファンドへの投資を通じて、引き続き独自の定量モデルに沿った運用を実施します。定量モデルにおける個別銘柄ごとの魅力度(アルファ)については、「ファンダメンタル要素」、「クオリティ要素」、「センチメント要素」、「テーマ等要素」を構成する数多くの定量的切り口(シグナル)から算出します。それを利用して銘柄を入れ替えながら買い持ち(ロング・ポジション)

と売り持ち(ショート・ポジション)を調整し、高度なリスク管理・コスト管理とあわせて最適ポートフォリオ構築を量的に行うことにより、株式市場や各業種動向に影響されにくい安定的な収益の確保を目指すことで、投資信託財産の成長を目指す方針です。

なお、前述のとおり当マザーファンドの投資対象ファンドのうちの1つである「グローバル・アルファ・オポチュニティーズ・エクイティ・ファンド」は、2023年12月29日をもって償還し、当該ファンドに投資していた50%程度のポジションは、償還後は米ドルキャッシュへ移行しております。また、もう1つの投資対象ファンドである「BSFブラックロック・システムティック・グローバル・エクイティ・アブソルート・リターン・ファンド」への投資は引き続き純資産総額の50%程度の投資割合を維持し、ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)の償還期日が近づきました際には資金化を行い安定運用へ移行する予定です。

◇お知らせ

ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

当ファンドは、信託約款の規定に基づき2024年7月8日に信託期間が終了(満期償還)する予定でございますのでご案内申し上げます。

信託期間の終了にあたり、償還に備えるために、世界株式絶対収益追求マザーファンドを通じて投資していた2つの投資対象ファンドのうちの1つである「グローバル・アルファ・オポチュニティーズ・エクイティ・ファンド」については、当該ファンドの取締役会の決議によって2023年12月29日に償還されました。当該ファンドに投資していた50%程度のポジションは、償還後は米ドルキャッシュへ移行しております。また、当該ファンド償還以降も、為替ヘッジあり/為替ヘッジなし各ファンドともに為替ヘッジ方針は原則的に不変です。なお、もう1つの投資対象ファンドである「BSFブラックロック・システムティック・グローバル・エクイティ・アブソルート・リターン・ファンド」への投資は引き続き純資産総額の50%程度の投資割合を維持し、償還期日が近づきました際には資金化を行い安定運用へ移行する予定です。

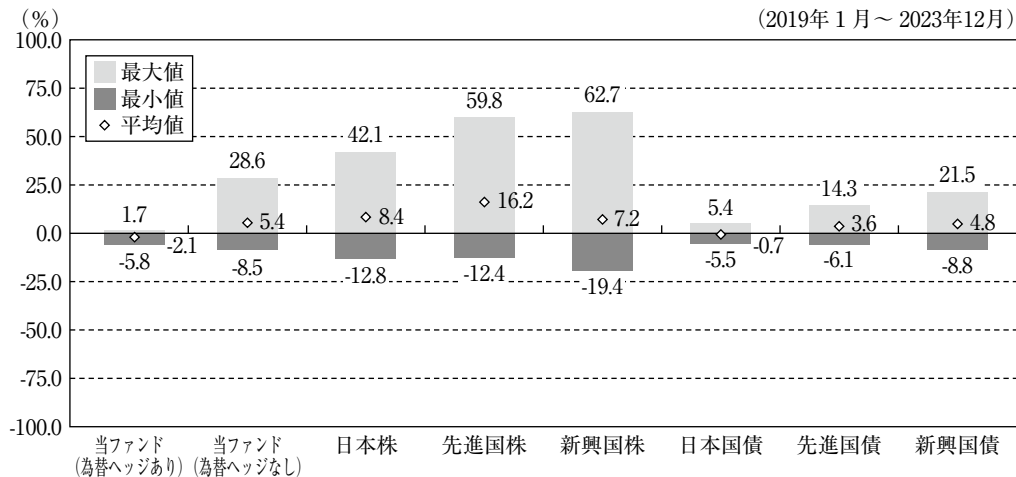
これまで受益者の皆様にご愛顧いただきましたことを深く感謝いたしますとともに、引き続き弊社投資信託に対する一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

◇当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/株式/特殊型(絶対収益追求型)	
信託期間	2014年7月7日から2024年7月8日まで	
運用方針	<p>【ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり)】</p> <p>①世界株式絶対収益追求マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券への投資を通じて、主として世界の株式および株式関連の派生商品等に投資し、ロング・ショート(買い建ておよび売り建て)ポジションを構築する投資信託証券(以下、「投資対象ファンド」といいます。)に投資を行い、市場動向に左右されにくい投資収益を追求します。マザーファンドの投資対象ファンドは、別に定めるブラックロック・グループの運用会社が運用するものとします。</p> <p>②マザーファンドが投資する各投資対象ファンドへの投資割合は、原則として均等配分を基本とします。基本投資割合は、資金動向、市況動向、および各投資対象ファンドの収益性・流動性等を勘案して、委託会社の判断により変更することができます。</p> <p>③実質外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>④資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p> <p>【ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジなし)】</p> <p>①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界の株式および株式関連の派生商品等に投資し、ロング・ショート(買い建ておよび売り建て)ポジションを構築する投資信託証券(以下、「投資対象ファンド」といいます。)に投資を行い、市場動向に左右されにくい投資収益を追求します。マザーファンドの投資対象ファンドは、別に定めるブラックロック・グループの運用会社が運用するものとします。</p> <p>②マザーファンドが投資する各投資対象ファンドへの投資割合は、原則として均等配分を基本とします。基本投資割合は、資金動向、市況動向、および各投資対象ファンドの収益性・流動性等を勘案して、委託会社の判断により変更することができます。</p> <p>③実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>	
主要投資対象	子投資信託	【ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)】 世界株式絶対収益追求マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	親投資信託	【世界株式絶対収益追求マザーファンド】 主として世界の株式および株式関連の派生商品等に投資を行い、ロング・ショート(買い建ておよび売り建て)ポジションを構築する投資信託証券に投資を行います。
運用方法	世界株式絶対収益追求マザーファンドへの投資を通じて、主として世界の株式および株式関連の派生商品等に投資し、買い建て・売り建てポジションを構築することにより、世界の株式市場の動向に左右されにくい安定的な収益を追求し、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。	
分配方針	<p>年2回の毎決算時(原則として1月15日および7月15日。休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>■経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益(繰越欠損補填後、評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額の範囲として分配を行います。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <p>■留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

(参考情報)

◇代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

* 上記は、2019年1月～2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

* 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

<各指数について>

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する我が国を代表する指数です。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値および東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数(配当込み、円ベース)は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するのではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

<ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり)>

◇ファンドデータ

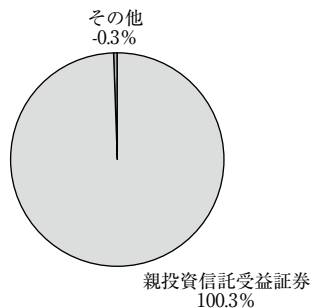
■当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

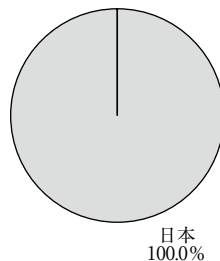
	比率
世界株式絶対収益追求マザーファンド	100.3%
その他	-0.3

(注) 比率は第19期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

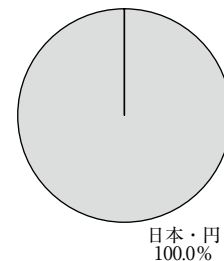
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第19期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

項目	当期末
	2024年1月15日
純資産総額	17,586,639円
受益権総口数	20,054,902口
1万口当り基準価額	8,769円

* 当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は3,388,937円です。

<ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジなし)>

◇ファンドデータ

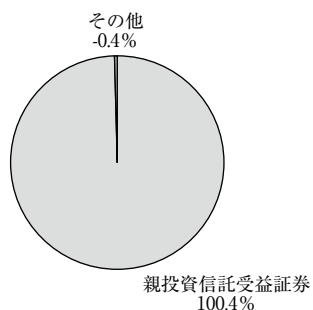
■当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

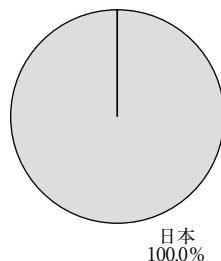
	比率
世界株式絶対収益追求マザーファンド	100.4%
その他	-0.4

(注) 比率は第19期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

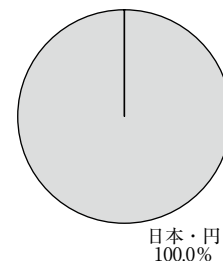
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第19期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

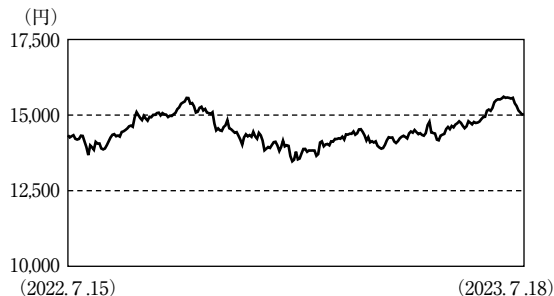
項目	当期末	
	2024年1月15日	
純資産総額	784,631,859円	
受益権総口数	593,155,751口	
1万口当り基準価額	13,228円	

* 当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は21,730,407円です。

■組入上位ファンドの概要

◆世界株式絶対収益追求マザーファンド

○基準価額の推移



○組入ファンド等

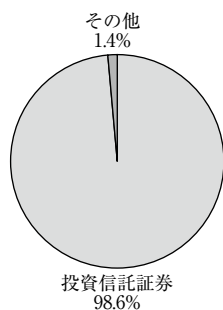
銘柄名	比率
グローバル・アルファ・オポチュニティーズ・エクイティ・ファンド	49.5%
B S F ブラックロック・システムティック・グローバル・ロング/ショート・エクイティ・ファンド	49.1
その他	1.4

○1万口当りの費用明細

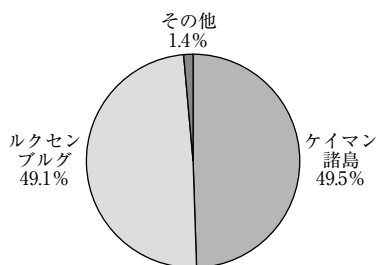
(2022.7.16~2023.7.18)

項目	当期	円
(a) 売買委託手数料	-	
(b) 有価証券取引税	-	
(c) その他費用 (保管費用)	1	(0)
(その他)		(0)
合計	1	

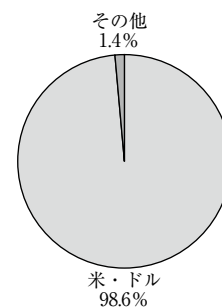
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については1ページ(1万口当りの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 通貨別配分のデータは実質為替組入比率を記載しております。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

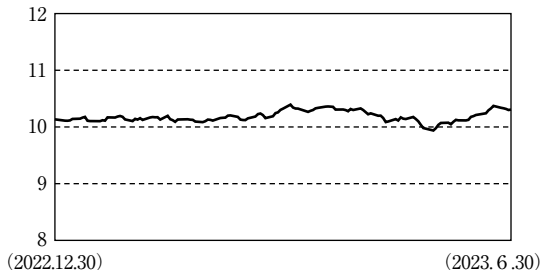
■マザーファンドの組入上位ファンドの概要

◆グローバル・アルファ・オポチュニティーズ・エクイティ・ファンド

*世界株式絶対収益追求マザーファンド(以下「マザーファンド」)といいます。)が投資対象とするグローバル・アルファ・オポチュニティーズ・エクイティ・ファンドについては、ブラックロック世界株式絶対収益追求ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)の決算日である2024年1月15日時点ではマザーファンドにおける保有はありませんが、ご参考として当該投資対象ファンドの入手可能な最近のデータである半期末時点(2023年6月30日現在)の内容を記載しています。

○基準価額の推移

(米・ドル)



○上位10銘柄(ロングポジション)

銘柄名	通貨	比率
SEKISUI HOUSE LTD	日本・円	2.0%
NASDAQ INC	米・ドル	1.9
SHIONOGI & CO LTD	日本・円	1.7
PPL CORP	米・ドル	1.7
VISA INC	米・ドル	1.6
EBAY INC	米・ドル	1.6
AXA SA	ユーロ	1.6
DOVER CORP	米・ドル	1.6
TRANSURBAN GROUP	オーストラリア・ドル	1.5
GEA GROUP AG	ユーロ	1.5
組入銘柄数		442銘柄

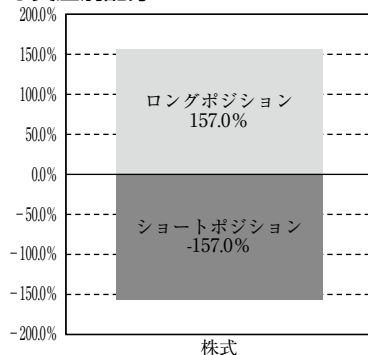
○下位10銘柄(ショートポジション)

銘柄名	通貨	比率
FERGUSON PLC	米・ドル	-2.0%
TORONTO-DOMINION BANK	カナダ・ドル	-1.6
SUN LIFE FINANCIAL INC	カナダ・ドル	-1.6
CANADIAN APARTMENT REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	カナダ・ドル	-1.6
BANK OF MONTREAL	カナダ・ドル	-1.6
JAPAN EXCHANGE GROUP INC	日本・円	-1.6
mitsui chemicals inc	日本・円	-1.6
DAIWA SECURITIES GROUP INC	日本・円	-1.5
KINTETSU GROUP HOLDINGS CO LTD	日本・円	-1.5
SOUTHERN CO	米・ドル	-1.4
組入銘柄数		482銘柄

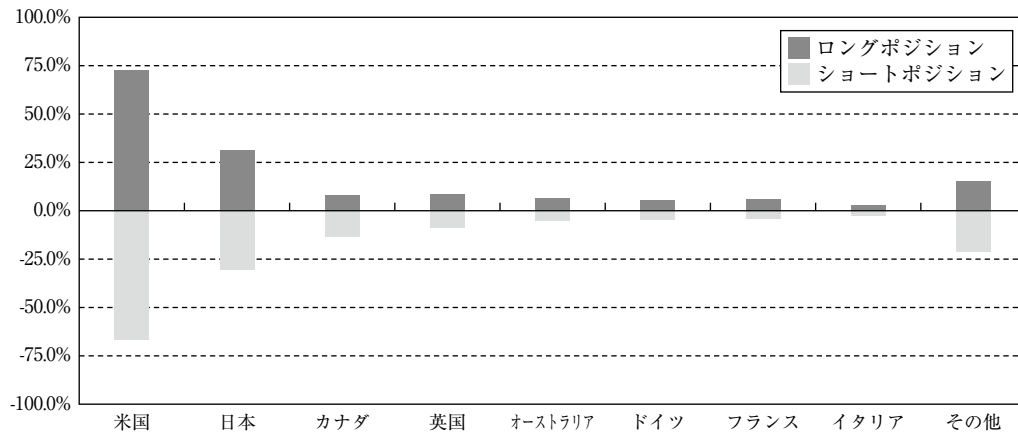
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

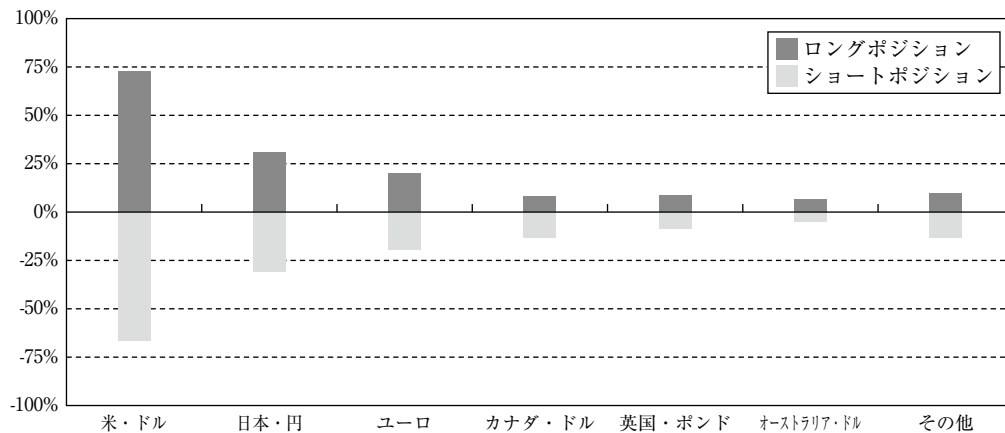
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

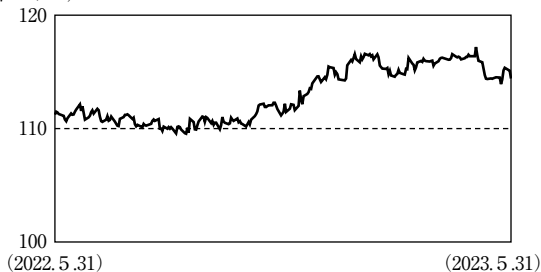


◆BSF ブラックロック・システムティック・グローバル・エクイティ・アブソルート・リターン・ファンド

*2023年8月1日に「BSF ブラックロック・システムティック・グローバル・ロング/ショート・エクイティ・ファンド」よりファンド名称を変更しました。

○基準価額の推移

(米・ドル)



○上位10銘柄(ロングポジション)

銘柄名	通貨	比率
MICROSOFT CORPORATION	米・ドル	2.6%
NVIDIA CORPORATION	米・ドル	2.1
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	米・ドル	1.8
VERISIGN INC	米・ドル	1.7
ALTRIA GROUP INC	米・ドル	1.4
MANHATTAN ASSOCIATES INC	米・ドル	1.1
VISA INC	米・ドル	1.1
AMAZON.COM INC	米・ドル	1.1
TERADYNE INC	米・ドル	0.9
COCA-COLA CO	米・ドル	0.9
組入銘柄数	2,039銘柄	

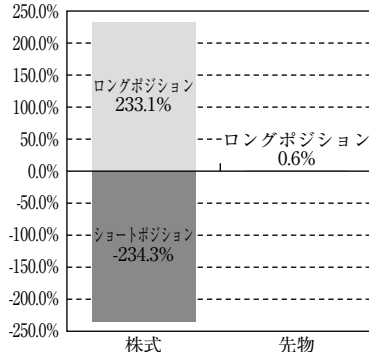
○下位10銘柄(ショートポジション)

銘柄名	通貨	比率
ORACLE CORPORATION	米・ドル	-1.4%
AUTOMATIC DATA PROCESSING INC	米・ドル	-1.4
MAXIMUS INC	米・ドル	-0.9
HSBC HOLDINGS PLC	英国・ポンド	-0.9
SOUTHERN COMPANY (THE)	米・ドル	-0.9
ENTEGRIS INC	米・ドル	-0.8
KIKKOMAN CORPORATION	日本・円	-0.8
STELLANTIS NV	ユーロ	-0.8
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS INC	米・ドル	-0.8
BOSTON PROPERTIES INC	米・ドル	-0.8
組入銘柄数	2,288銘柄	

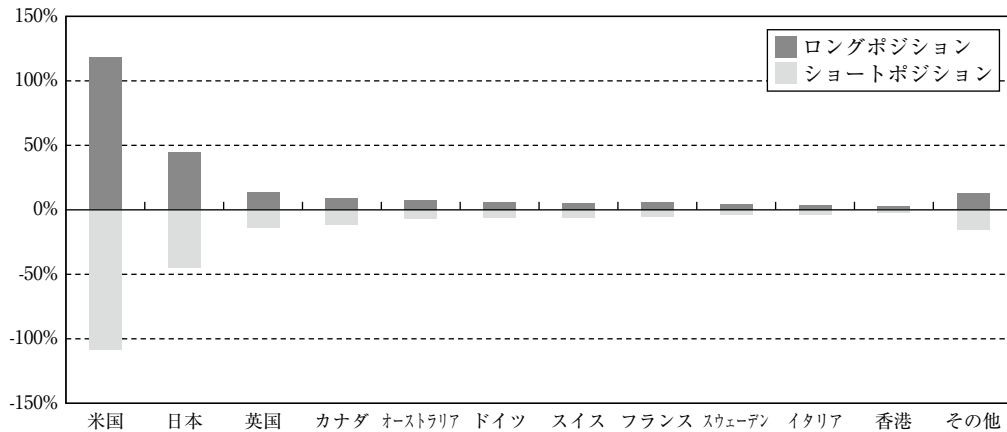
○1万口当りの費用の明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

